

2012年8月28日

“いつでもどこでもガシャポン®検索”
 ～ガシャポン®ロケーション探索支援サイト～
 「ガシャどこ？」

2012年8月31日(金)より順次サービス開始

株式会社バンダイ（本社：東京都台東区、代表取締役社長：上野和典）は、株式会社マピオン（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤孝也）と共同で、ユーザー投稿型ガシャポンロケーション探索支援サイト「ガシャどこ？」<<http://gashadoko.jp>>（サービス料：無料／別途通信費がかかります）を2012年8月31日（金）より、スマートフォン端末を対象にサービスを開始します。

当サイトは、全国約4万ヶ所に点在しているガシャポン自販機のロケーション状況や商品の販売状況を、ユーザーからの情報を集約し表示するものです。ガシャポン自販機を見つけたユーザーが、その現場からGPS機能を介して位置情報と商品情報を入力することで、ユーザーがリアルタイムに情報を共有する事が出来るサイトとなっています。今まで散在していた情報を集約する事で、ガシャポンに関する新しい情報交換の場として活用して頂けます。ユーザーからの投稿方法は、ガシャポン自販機上に設置された「ガシャどこ？」専用POPに記載された二次元バーコードを読み取り、本サイトにアクセスして投稿する方法と、サイトトップページから直接アクセスしGPSによる位置情報から投稿する方法があります。またTwitterやFacebookのアカウントから「ガシャどこ？」に投稿もできます。

同サービスはスマートフォン端末のみで開始しますが、今秋にはフィーチャーフォンの対応も予定しております。



「ガシャどこ？」(<http://gashadoko.jp>)

サイト TOP 画面



地図画面表示



投稿画面

ガシャポン売り場を簡単検索！ 検索方法は4パターン！

ユーザーより投稿された情報は「ガシャどこ？」サイトで簡単に検索する事が出来ます。検索方法は下記の4つとなります。

- ① フリーワードで地名や住所を入力して検索
- ② キャラクター名や都道府県、市区町村での絞込み検索
- ③ 現在地から地図上で検索
- ④ 口コミ情報からフリーワードで検索

今までユーザーからの声が多かった「ガシャポン商品を買いたいけど、どこに行けば買えるかわからない」といった問題の改善に繋がります。

カプセル自販機市場の変化



バンダイは1977年に当時20円機が主流だったカプセル玩具自販機市場に異例の100円機で参入。以来、高付加価値商品を追及し続けています。1991年には200円機を導入し、ターゲットの拡大とアイテムの充実を図り、1997年には100円・200円切替式自販機を導入、2001年からは300円・400円まで販売可能にした新型自販機をニューデザインで導入し、好評を得ています。さらに2003年からはミニ自販機「CAPSULE STATIONmini」、2011年には10円から550円まで対応した最新自販機「CAPSULE STATION IV」を導入しました。

バンダイのカプセル自販機は2012年3月末現在で約50万台が市場導入されています。

商品も進化を続け、参入当初は人気を集めた「キンケシ」「ガンケシ」等、彩色がされていないカプセル玩具が主流でしたが、ガシャポン35周年を迎えた今年は、スマートフォンと連動したAR機能搭載のフィギュアシリーズ「HYBRID GRADE」を発売する等、ガシャポン市場は進化を続けています。

【ガシャポン商品の出荷数】

1977年～2012年3月末までの累計出荷数 29億1,700万個

<サービス概要>

- サービス名 : ガシャどこ？
- 開始日 : 2012年8月31日（金）よりスマートフォン端末でサービス開始
2012年秋よりフィーチャーフォンでもサービス開始予定
- URL : <http://gashadoko.jp>

※この資料は2012年8月28日時点のものです。

※ご利用はすべて無料となりますが、サイトアクセスにかかる通信料はお客様のご負担になります。

※閲覧時期によっては投稿された情報と実際の内容が異なる場合がございます。

ガシャポン公式ホームページ : <http://gashapon.jp/>
バンダイホームページ : <http://www.bandai.co.jp/>